

# あおがき

No.175

発行／大分大学教育学部附属中学校 PTA  
 発行責任者／澤野 充幸  
 編集／PTA 広報委員会  
 印刷／株式会社 明文堂印刷

## 1年生が「のつはる集団体験学習」に行ってきました

入学したばかりの1年生を対象にした集団体験学習が4月20～22日にありました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から昨年度に続いて宿泊体験は中止になったものの、野鳥ビンゴや竹はし作りなど、普段の生活ではできない楽しい体験を通して親睦を深めました。

感染症対策ということで、やむを得ず、宿泊は中止になりました。それでも新しい学年のまとまりをつくり、特に1年生は中学校生活の流れやルールを学ぶ大切な機会。体育大会も5月に控えており、集団行動の基本を学んでほしいという部分もあります。結果としては時間を守る意識が高まり、新しいルールに素早く適応できるきっかけになったと思います。子どもたちから寄せられた感想の中でも、班の中で話して仲良くなったとたくさん聞きます。寝食を共にする活動はできずに残念でしたが、この形でもやれてよかった、今できることを最大限できたかなと感じています。(白根和延先生)

● 8:10  
のつはる自然の家へ出発

● 9:20  
到着



● 10:30  
野鳥ビンゴ



● 12:00  
昼食



● 13:15  
竹はし作り



● 16:45  
学校着

野鳥ビンゴは班で話し合い、助け合えたのが良かったです。最後は時間に間に合うよう、しっかり調整もできました。もともとは2泊3日のつもりだったのでびっくりした部分もありますが、班の人たちと仲良くなり、みんなで協力して、いつもと違う環境で学習ができました。



竹はし作りは、久しぶりに集中して作業をしたような気がします。あまり上手にはできませんでしたが、アドバイスを出し合いながらできてよかったです。家では鍋の煮込みに使っています。野津原での活動が1日しかなかったからこそ、めいっぱい楽しもうと思いました。みんなで宿泊する楽しみは、修学旅行にとっておこうと思います。

活動の日数や内容が制限される中、白根先生は「生活係や活動係など全員に役割を与えました。学校ではできない体験を、みんなで一緒にすることを心掛けました」と工夫した点を説明します。本田教頭先生は「校外での活動は生徒だけでなく教員も、普段と違う面が見えます。緊張もほぐれ互いの距離も縮まったように感じています。本当にやってよかった。」と振り返りました。中学校生活最初の良い思い出になったのはもちろん、新しい環境や友達に慣れる貴重な機会にもなったようです。初めてのことが続いた前期も間もなく終わり、後期はいよいよ青垣祭もあります。のつはるで培ったパワーで頑張してほしいと思います。

## 市総体、県総体、九州大会がありました



県総体出場おめでとうございます

《団体》男子バスケットボール部  
 男子バレーボール部  
 《ダブルス》男子ソフトテニス部

《個人》男子卓球部

九州大会出場おめでとうございます

男子バスケットボール部  
 3年生のみなさん、おつかれさまでした



平素よりPTA活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

令和4年度がスタートしましたが、今もなお新型コロナウイルス感染症の影響が続き、本年度のPTA総会においては感染症対策のため、新たな試みとしてオンライン開催とし、WEBでの書面表決による承認をいただきました。

PTA活動においては、感染症対策を講じながら総務委員会をはじめとした各専門部が歩みを止めることなく計画を推進していくこととしております。状況によっては、計画どおり実施できないこともあるかもしれませんが、しかし、学校行事のサポート等、できる範囲の活動を通して生徒たちの成長に寄与し、PTA本来の目的を忘れず、生徒たちが安心・安全な学校生活を送れるよう支援してまいります。

また、時代の変化や価値観、性に対する捉え方の多様性に対応するため、令和3年度から制服の検討に入り、保護者の皆様からもアンケートによる意見をいただきました。その意見を集約し、校内制服検討委員会及びPTAと意見交換を行いながら、学校・生徒、そしてPTAが一緒になって検討を進めてまいります。

今後子どもたちの笑顔のために、保護者の皆様をはじめ、先生方と力を合わせて、できる限りの支援と活動を行ってまいります。引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。

## 各委員会活動報告（前期）

### 総務委員会

コロナ禍ではありますが、今年もオールフォーオールキャンペーンを行っています。

保護者の方々のご協力に支えられ、とても充実した活動ができています。

総務委員会は、4/11入学式準備、4/18PTA役員選出、5/2PTA総会・後援会総会(zoom開催)、5/11第1回総務・常任・合同・専門委員会、部活動代表者会議、5/21体育大会受付入退場案内、6/6~10保護者授業参観週間受付、6/10附属四校園PTA連絡協議会、6/29附属四校園PTAクラブ発会式、7/2インターアクトクラブ田ノ浦ビーチ清掃を行いました。

今後ご理解とご協力をお願いいたします。



### 学年委員会(3年部)

3年部では学年テーマ「Growth Ring」を掲げ活動しています。Growth Ringとは、成長の過程を自らに刻みつつ厚みを増してゆく年輪=成長輪を意味し、そのイメージを子どもたちの育ちの姿と重ねています。義務教育さいごの年である“今、ここ”が人生100年時代の軸となっていくことを思い、子どもたちを真ん中に保護者の皆さま、先生方と視点共有したく、「学年通信」を交流の場として季刊発行しています。

通信では、3年生へのアンケート結果をもとに、「14-15歳の今」に注目。入学当初からコロナ禍で過ごし、様々な制限や壁を乗り越えてきた3年生の姿を、各号で紹介していきます。前例のない状況だけに、子どもたちの今を当事者として記述すること、記録を積み上げていくことも、学年部の大切な役割と考えています。併せて、毎年3年部で引き継がれてきた「卒業記念DVD」の制作準備を進めています。微力ながら、感染対策下にあっても学年での横つながりを志向し、3年生158名が附中史に新たな道を刻む一助となれましたら幸いです。



### 学年委員会(2年部)

テーマ「flexibility」～変化に対応する力を～

※flexibilityとは、変化に対する柔軟性や融通性、しなやかさという意味があります。

・4/26修学旅行の緊急打ち合わせがありました。コロナ禍の影響により株式会社JTBの協力の下、日程と場所の変更の話し合いが行われました。

・5/11第1回役員会で委員会活動の流れの説明を受け専門委員会にて年間テーマ・年間活動計画の作成、常任委員会で発表しました。

・5/27今年度は初めて「さくら連絡網」を活用して「PTA学年通信No.1」を発行し、ペーパーレス化に取り組みました。

・7/12新型コロナ第7波の急拡大によりPTAがZoomになり学級懇談会が中止になりました。懇談会での議題やアンケートの内容を決めていましたが、あらゆる事態を想定し、作成(プリント)までは至りませんでした。

[今後の予定]・修学旅行PTA ・進路講演会

中学2年生、心も身体も大きく変化する時期。今後もコロナ禍や社会情勢の変化にも柔軟にしなやかに対応していく力を保護者として見守り、共に進んでいけたらと思います。

### 学年委員会(1年部)

私たち1年学年委員会は「考動」(こうどう)を活動テーマとしました。「考動」とは、行動しながら考える。考えながら行動する。という意味です。この一年間を子ども達には、友を信頼し、自分の才能を信じて自ら「考動」し、安心して笑顔で過ごせる毎日であって欲しいと願っています。そのために、保護者と学校が一体となって見守り、共に考え行動していける一年にしたいと思っています。

そこで、何をすればよいかを学年主任の先生を中心に相談し、親子共々興味があり、そしてまだよくわからないインターネット関係についてお互いに学んでいく1年にしようと考えました。

まずは、7月に保護者懇談会を開催し、それぞれの家庭の考え方を伺う予定でしたが、コロナの関係で残念ながら中止になりました。

今後は、親子で一緒にクロームブックの活用や、インターネット環境について学ぶ機会を作りたいと思っています。

また、コロナの影響で、なかなか構内に入らず学校生活が見えない保護者と初めての中学生生活を送る子ども達とで何か交流ができないか。という事も考えています。いずれも、学校行事と連携しながら行っていく予定にしています。

## 環境委員会

今年度の年間テーマは「共存共栄」です。コロナ禍で日々環境が変化していく中で学校、生徒、保護者が共に助け合い、認め合い、成長できるようにと思いを込めました。このテーマのもと前期は次の活動に取り組みました。

5月14日に第一回の花苗の植え替えをしました。マリーゴールド、コリウス、日々草、ケイトウなどの苗、183株を60プランターに植えました。初めての植え替えて成長が心配されましたが、大きく育ちました。5月21日の体育大会ゴミゼロ運動は、コロナ感染拡大のため中止となりました。運動場と校舎前の2か所のトイレ清掃とトイレトペーパーの補充のみの活動となりました。

環境委員会の会議は6回(5月に4回、6月に2回)開催しました。花の水やりと手入れは環境委員3年部で15回(5月に6回、6月に9回)実施しました。7月と8月はPTA活動の一環であるオールフォールで3年生の保護者37名の方々に協力いただきました。本当にありがとうございました。

8月21日に夏休み校内親子清掃が行われる予定でしたが新型コロナウイルス感染症拡大により中止となりました。後期もどうぞよろしくお願いたします。



## 生活委員会

今年度の生活委員会は「培おうあいさつの習慣 高めよう安全意識」というテーマのもと、活動を開始しました。前期の主な活動は以下の通りです。

☆体育大会の諸注意文書と車両入構証の発行及び当日の入構案内 ☆授業参観見回り ☆登下校指導 ☆生活委員会だよりの発行

どの活動も、新型コロナウイルス感染予防との兼ね合いで、学校側の様々な判断を待つ形となりました。結果的には3年生の保護者だけの参観となった体育大会、2年ぶりに行われた授業参観、そのどちらにおいても、保護者の皆様には、学校とPTAの対策をしっかり守っていただき、心配された感染の拡大やトラブルもなく、無事終了することができました。

また登下校指導では、現状をふまえ学校側と相談をし、より安全に通行してもらうために指導箇所の見直しを行いました。参加した保護者からのアンケートの集計から、問題点を洗い出し、今後に生かせるように後期に引き継ぎます。後期には登下校指導があと6回予定されています。その他校外研修会への参加も複数予定されています。

前期はどの活動も、保護者の皆様に多大なるご理解とご協力をいただきました。後期の生活委員会の活動も、どうぞよろしくお願いたします。

## 文化研修委員会

今年度の文化研修委員会の年間テーマは「気づき～変化するもの、変わらないもの～」です。世界情勢やコロナ禍の影響による生活スタイルの変化、デジタル化の推進等、現在の子どもたちを取り巻く環境はまさに変化の渦中にあります。ただ、変化する社会に振り回されるだけでなく、一歩立ち止まって、友達や家族等周りの人との絆、他者への思いやりの気持ち等、いつの時代においても変わらない大切なものに気づくことで、子どもたちの人生がより豊かなものになってほしいという気持ちを込めて文化研修委員会の年間テーマは標記のとおりといたしました。かかるテーマの下、7月12日に保護者向け講演会「今日からはじめる“傾聴”～我が子に寄り添い、共感的に話を聴くために～」を実施いたしました。コロナ感染拡大で急遽オンラインに変更になったにも関わらずたくさんのご参加ありがとうございました。今後、生徒向けにサタスタを2回、バス研修旅行(コロナ感染状況による・現在は未定)を実施する予定です。実施のご案内や実施した際はその様子を保護者の方々にご報告できたらと思います。今後ともよろしくお願いいたします。



## 広報委員会

今年度の年間テーマは「繋ぐ(学校～生徒～保護者を、そして過去～未来へ)」です。コロナ禍で子どもの学校での様子が見えづらく、先生と保護者、保護者間の意思疎通が難しい状況が続いています。そのような中、PTA活動、学校行事や取り組み、先生や生徒、保護者の思い、伝統を繋ごうとしている姿等を取材させていただき、広報誌を通して繋いでいけたらと思っています。

またPTAのペーパーレス化に伴い、今年度の広報誌は再生紙を使用し、さくら連絡網でのオンライン発行も試行したいと思っています。試行後はアンケートのご協力を宜しくお願致します。

文化研修委員会主催 保護者向け教育講演会

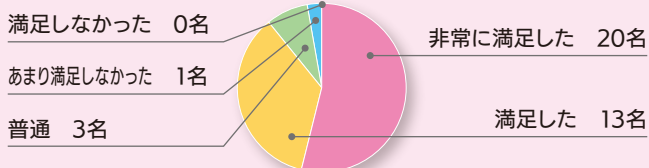
## 『今日からはじめる“傾聴”～我が子に寄り添い、共感的に話を聴くために～』

講師 傾聴セラピスト アンダンテ代表 宇野乃里子 先生

7/12 オンラインでの講演会となりましたが、宇野先生より事例を交えながら、傾聴のポイントを解り易く教えていただきました。ただ話を聴くのではなく、受容と共感をもって聴くと、話し手は安心感が生まれ、心の整理ができ、自分で解決しようとする力やエネルギーが生まれるそうです。詳しくは、さくら連絡網のレジュメやアンダンテの紹介をご覧ください。(参加者 60名)

アンケート集計結果 (回答者 37名)

① 講演会はどのくらい満足されましたか?



② ①の理由を教えてください(一部抜粋)

- ・今まさに自分が子ども達に対してすべきことだと思いました。
- ・自分では傾聴してるつもりでも、実際はできていなかったかもしれません。改めて実感させられました。
- ・傾聴する事で安心感が生まれるのはわかっていましたが、心の整理ができたり、自分で解決しようとする力が生まれる事は、初めて知ったので良かったです。
- ・子どもと話をする上でのヒントがもらえたように思います。
- ・暮らしの中で子どもの話をじっくり聞く時間がなかなかないが、話したくなるような雰囲気を作ることが大切だと感じました。
- ・忙しい日々の中でも、少し手を休めて子どもと向き合う中で、話を聴きたいと思います。

③ 講演会に参加してやってみようと思ったことは何ですか? (一部抜粋)

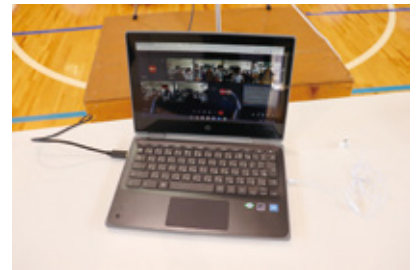
- ・思春期・反抗期と難しい時期なので、身体の成長と共に心の成長を信じて待ってみようと思います。
- ・まずは、答えを私から出さない。そして相手を信じる事から始めてみたいです。
- ・子どもに口出しするのを我慢してみようと思います。
- ・子どもの話を遮って、自分の価値観を押し付けたくないような気を付けます。

昨年の広報誌では、特集「新しい学びのかたち～ GIGA スクールを考える～」の中で、パソコンの不正使用やトラブルを防ぐには、情報モラルについて正しく理解することが重要であると、草場先生に教えていただきました。1人1台端末を活用したGIGAスクール構想が2年目を迎え、附属中学校の先生や生徒たちは、全国でも先駆けとなる研究や取り組みをされているようです。その様子取材させていただき、私達保護者も情報機器の使い方や、情報モラルについて一緒に考えていこうと思います。

### GIGAサポによるICTモラル授業が行われました 1年:体育館 2,3年:MEET

6/22 全校生徒の皆さんが「インターネットにある情報を自分で判断し、正しく使い、日常生活に役立てることができること」「ICTスキルを身につけ、将来に役立つ力を養うために学び考えること」について学習する機会をつくりたいと考え、GIGAサポが企画しました。初回である今回の授業は、調べ学習に取り組む際の「情報の選択方法」についての授業です。事前にアンケートを行い、GIGAサポが内容を考え授業をつくりました。次にchromebookを扱う上での全校生徒の悩みや疑問に回答しました。

信頼できる情報を手に入れるにはどうするか→  
情報の信頼性、発信時期、複数確認の必要性を、事例を挙げながら説明していました。



「家のパソコンとchromebookを繋ぐ方法がわからない」「ファイルをドライブフォルダに入れる方法がわからない」「スライドの共有の仕方」→実際にフォルダを開き、手順を説明していました。



### GIGAサポとは

「附中×GIGA」サポーターズチームの略。「附中×GIGA」構想の実践を推進するために発足された、生徒による活動組織。主な活動内容は3点。

- ①授業でICT端末を使用するときに、先生や困っている人のサポートをすること。
  - ②情報機器の環境整備をすること。主にICT端末のトラブルシューティングにあたる。
  - ③ICT端末の利用についてのマナーとルールを発信すること。
- 校内の有志によって構成される。生徒による自発的な活動・発信を目指す。

文部科学省「ICT活用教育アドバイザー事業」オンライン研修会

### 『1人1台端末の持ち帰りをするには～課題例と安全・安心のための約束～』

7/1 教員向け研修会を視聴させていただきました。保護者の理解を得るための1つとして、実際に保護者に端末を使ってもらうことが有効との説明がありました。家庭でのトラブル予防としては、トラブルは起きる前提で、保護者や子どもに「学習の目的」「大切に使うとは、使えない時はどんな時？」を自立的に考え、自覚してもらうことが大切とのこと。また、フィタリングをかける時は、子どもに目的や程度を伝えて行うよう、お話がありました。

—GIGA サポは、いつ発足したのですか？

弓山さん：5月下旬です。

—なぜ立候補しようと思ったのですか？

石井さん：先生から選んでもらいました。

弓山さん：楽しそうだと思い、興味があって…

藤井さん：僕も選ばれました。

—GIGA サポになるには、条件がありますか？

石井さん：パソコン等に詳しくないといけないことはなくて、ICTに興味があって、周りで困っている人がいたら、助けたいと思うような人が、メンバーにふさわしいと思います。

—今後はGIGA サポを中心に、生徒がMeetの接続・配信を行っていくように進めていると、草場先生に聞きました。

元々、機器の扱いも詳しくあったのですか？

3人：いえ、先生に教わりました。

—今日の講義の内容は、誰がどのように決めたのですか？

弓山さん：僕たち3人が内容やスライドを一から作りました。

—今日の講義「情報の選択」も3人で決めたのですか？

弓山さん：先生から何個か候補をもらって、決めました。

—この活動はいつ行っているのですか？

石井さん：放課後です。

—今日の講義の準備は、どのくらいかかりましたか？

石井さん：実質1週間くらいです。(放課後1日1時間)

—アンケートの実施・回収・グラフやスライドの作成を全部ですか？

3人：はい。グラフはパソコン上で作ってくれます。

—全校生徒へのアンケートや感想の回収も、chromebookで行うのですか？

3人：はい。

—では、紙は一切使っていないのですか？

3人：はい。

—今後の予定を教えてください。

弓山さん：今後は chromebook の使い方や困っていることを聞いたり、SNS の使い方やネットモラルなどに展開していけたらと思っています。

—私達 PTA 広報委員でも、今年度ネットモラルを特集しようと考えて教頭先生に相談したところ、GIGA サポや学校の取り組みを教えてくださいました。皆さんは、家ではどのような目的で、どんな機器を使っていますか？

石井さん：調べ物や YouTube を観るのに iPad を使っています。

弓山さん：スマホやゲーム機です。スマホは SNS(LINE や Twitter) か YouTube など使っています。

—Twitter は発信しているのですか？

弓山さん：観るだけです。いいね!を押すこともあります。

藤井さん：僕はゲーム機、スマホ、タブレット、パソコンなどいろいろ使っています。SNS は Twitter を観るくらいです。

—皆さんは今後、Twitter で発信したいと思いませんか？

3人：しないと思います。個人情報漏れるのも怖いし、自分から発信するものはないです。承認欲求も他で(ゲームや勉強)で満たされているので大丈夫です。

—ゲーム内で知らない人とコミュニケーションを取ったことはありますか？

藤井さん：ないです。チャットを繋ぐのは友達だけです。

—最後に私達保護者に伝えたいこと、望むことはありますか？

3人：子どもがスマホやゲーム機を持つことを、悪い方向に考えすぎて・・・そんなにめちゃくちゃな使い方はしないと思います。1番は友達といつでも連絡が取りたいだけだと思うので、ガチガチに制限するのは・・・もっと信じて欲しいです。

—今日は貴重な昼休みに、ありがとうございました。



公開研究発表会～ This is 附属中～

## 『私たちがつくるこれからの附中』

記念講演『本校の研究に対する指導講評やこれからの国の方針』講師 放送大学 中川一史教授

7/7,8 公開研を Zoom で視聴させていただきました。GIGA サポや学習委員長から現在の取り組みの発表がありました。生徒が授業をつくるという考え方では、ルールではなくモラルで ICT 活用のレベルを上げていきたい、という気持ちが伝わりました。中川教授からは、GIGA スクール構想が 2 年目となり学校によって差が出てきた中、附中は先駆けて「生徒主体の学び」「記録(データ)の活用」「問いの工夫」等ができていると評価されていました。協働的な学び、多様性の理解、情報活用能力、言語能力等、国の目指す方針のお話もありました。

2 年目を迎える「附中 ×GIGA」構想は、生徒の自発性という側面を新たに加え、進化しています。chromebook の導入により、ICT 端末が非常に身近な存在となりました。活用が進むにつれ、「自分が何のために chromebook を使っているのか」を生徒自身が正しく理解する必要が求められます。技術面・モラル面の両方を同時に育てることが重要となります。そのような中、先生方のサポートの下に GIGA サポの取り組みが始まりました。生徒自身が ICT 教育に関わることで、生徒達の自発的な気付きを促すことが期待されています。この実践が生徒間に浸透し、活発になることが ICT 端末の価値を高め、質の高い授業、より生徒達の実情に合った教育、そして生徒自身が授業をつくっていくという、附中伝統の「自主・自律」につながっています。



スローガン「煌湊撓灼(こうそうとうしゃく)」に込めた思い

『煌』獅子のように1人1人が存在感を持ち、鮮やかに煌く。  
 『湊』静と動を意識し、青龍のように鮮やかで一体感のある軍にする。  
 『撓』全員が団結し、協力する。また、しなやかさを全力で表現する。  
 『灼』開催できる喜びをかみしめ、炎のごとく熱量のある姿を見せる。



煌 黄軍

今年の体育大会は、例年通りの体育大会を知らない中で、十分な練習時間も確保できませんでしたが、無事成功してよかったです。僕は団長として、団、そしてこの体育大会をひっぱっていたことを誇りに思います。これからは、コロナで普通の中学校生活ができなかった僕たちが、もとあった伝統や自分たちでつくった新しい伝統などをつないでいけるように、がんばりましょう。



湊 青軍

今回の体育大会は、昨年、一昨年同様に、感染症対策を行いながらの体育大会となりました。私たち3年生も本来の附属中の体育大会を肌で感じたことがないので、練習ではどのような姿を目指してどのように士気を高めればよいか、試行錯誤して取り組みました。その甲斐もあり、本番は一体感のあるすばらしいものになったと思います。来年以降も「青垣の山」などの演舞のみならず、一人一人の熱意まで紡いで、伝統ある附属中の行事としてつないでほしいです。



# 令和4年度 体育大会 with コロナ!



体育大会実行委員長

体育大会に向けての準備は、とても難しかったです。決して苦ではありませんでした。この経験を通して、人をまとめることの大変さ、責任感を持って仕事に取り組むことの大切さなど、多くのことを学ぶことができました。後輩の皆さんにも、行事を一からつくりあげるといふ自主自律の精神をぜひともつないでいてもらいたいです。

令和4年5月21日体育大会が行われました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため短縮した形での開催となりました。また、参観についても3年生の保護者のみ1家庭1名でした。

生徒たちは制限された中ではありましたが、各団ともリーダーを中心に協力しながら、全身全霊で各種目や演舞、応援などに取り組みました。生徒はとても良い表情で、真剣な眼差しで取り組む姿に大変感動しました。この体育大会で身に付けた力を次の活動につなげていてもらいたいと願っています。



撓 白軍



灼 赤軍

私はこの体育大会がとても印象に残っています。よく3年生に「私たちは先輩として、後輩に伝統を残していく使命と責任がある」という風に話していました。この体育大会を通して、それを達成することができたと思います。来年度はどのような形での開催となるか分かりませんが、換骨奪胎、私たちがつないだものを活かしていてもらいたいです。

私が来年の体育大会で大事にしてほしいことは、全員で何かをつくりあげることを楽しむことです。団全員をまとめあげることには大変ですが、成功したらその分大きな達成感を得ることができます。また人前に立つ緊張感を体験し、慣れることができます。来年にはコロナウイルスの制限も緩和されて、できることも増えると思うので、その分全力で楽しんでください。

# 職員紹介



校長  
御手洗 宏 昭



教頭  
本 田 英 樹



主幹教諭  
斉 藤 秀 幸  
女子バレーボール部



生徒指導主事  
添 島 秀 紀  
全学年・技術  
野球部



保健主事  
下 田 妃 華



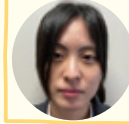
1学年主任  
田 村 有 実 子  
全学年・音楽  
合唱部



A組担任  
羽 田 野 直 樹  
1,2年・保健体育  
男子バレーボール部



B組担任  
釘 宮 里 枝  
1年・国語  
ディベート同好会



C組担任  
石 村 成 葉  
1年・数学  
合唱部



D組担任  
白 根 和 延  
1年・英語  
女子卓球部



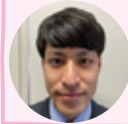
副担任  
白 石 遼 太 郎  
1年・社会  
卓球部



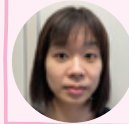
副担任  
加 地 伸 二  
1年・理科



2学年主任  
小 野 智 博  
2年・社会  
バスケットボール部



A組担任  
矢 野 雄 大  
2年・理科  
野球部



B組担任  
高 橋 舞  
2年・国語  
女子バレーボール部



教育実習主任・C組担任  
高 木 博 也  
2年・数学  
女子ソフトテニス部



D組担任  
中 村 希 美  
2年・英語  
男子バレーボール部



副担任  
板 井 涉  
2,3年・保健体育  
女子ソフトテニス部



副担任  
高 橋 雅 子  
全学年・家庭



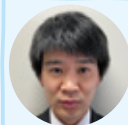
指導教諭・3学年主任  
三 村 洋 平  
3年・英語  
男子ソフトテニス部



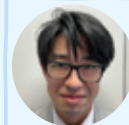
A組担任  
阿 南 幸 一  
3年・社会  
男子卓球部



B組担任  
井 田 由 紀  
3年・国語  
卓球部



C組担任  
永 富 健 太 郎  
3年・理科  
男子ソフトテニス部



D組担任  
木 梨 祐 司  
1,3年・保健体育  
バスケットボール部



研究主任・副担任  
草 場 博 文  
3年・数学  
茶道部



進路指導主事・副担任  
矢 治 朋 恵  
全学年・美術  
美術部



高 畠 妙 子  
教育相談(スクールカウンセラー)



Garilon Mathieu  
ALT



工 藤 雅 康  
情報支援



白 井 圭 介  
学校主事



佐 土 原 優  
図書館司書



古 澤 聡 子  
PTA事務



三 浦 昌 子  
SLS(スクールライフサポーター)